

令和 2 (2020) 年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	ポストナノカーボン科学：ナノ π 空間の精密構造科学
研究代表者	磯部 寛之 (東京大学・大学院理学系研究科・教授) ※令和 2 (2020) 年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020) 年度～令和 6 (2024) 年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究では、ベンゼンやクリセンといった芳香族分子を組み合わせて、環状や筒状あるいはボウル状など様々な形を持つナノカーボン分子を合成する。これらの分子そのものやこれらの分子の作る π 電子で囲まれた空間の機能を探索することとしている。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>簡便な方法を組み合わせることによって巨大ナノカーボン類を単一組成で合成して、その機能を解明しようとする独自性の高い研究である。応用への期待が高まっているカーボンナノチューブやグラフェンに代表される化学的には単一の組成ではない巨大ナノカーボン類の機能の理解にも貢献することが期待される。</p>